玄関ドア電気錠システムをご使用いただいておりますオーナー様へ

玄関ドア電気錠システム
停電時の注意事項

計画停電時に外出される際は、必ずスペアキー（メカニカルキー）も一緒にお持ちください。

停電時は電気錠システムが作動しません。
停電復旧後は自動的に使用可能状態になります。

◆対象玄関ドア電気錠システム

①FeliCaカード　電気錠システム（㈱アルファ）・・・P.2
※2010年8月以降ご契約の物件

②アルファ・パッシブキー　電気錠システム（㈱アルファ）・・・P.5
このシステムはパッシブキーにスペアキーが内蔵されています。
※2010年8月以降ご契約の物件

③戸建玄関ドアリモコン電気錠システム（㈱ユーシンショウワ製）・・・P8
※2000年3月15日以降ご契約の物件

各詳細は次ページ以降の取扱説明書抜粋をご覧ください。

取扱説明書

FeliCa® カード対応電気錠システム

エントリーロック
ENTRY LOCK® MS800

MS800-W-SH

対象電気錠システム①

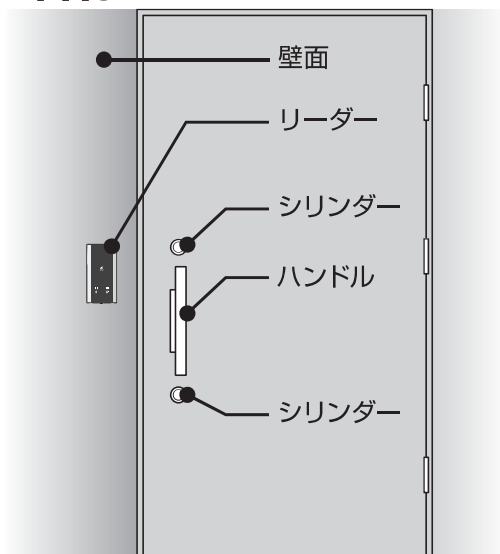
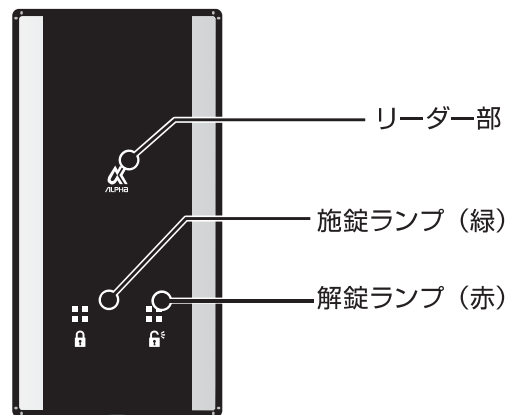
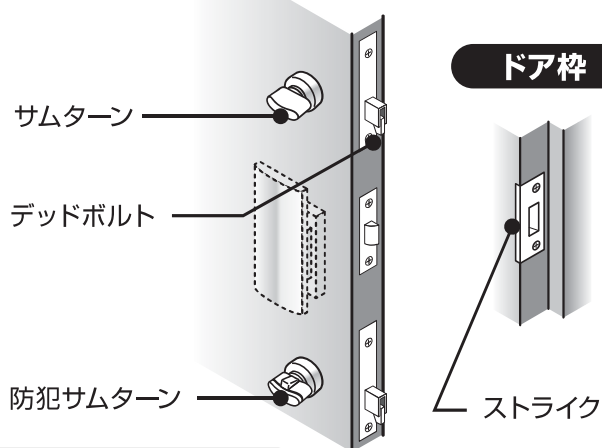
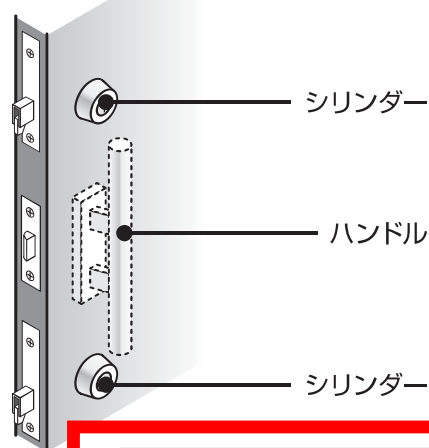
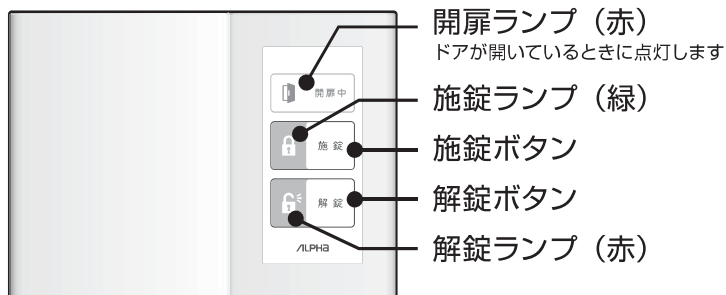
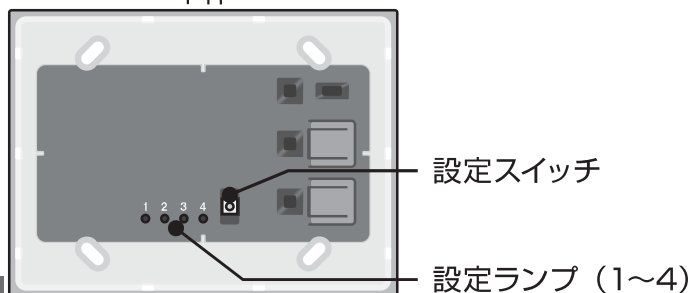
もくじ

お客様用
保存版

販売店・工務店の皆様へ
この取扱説明書は施工完了後、お客様へお渡しください。

AL10K08
0052-HMA-01

はじめに

■各部の名称

壁面
リーダー
シリンダー
ハンドル
シリンダー

ドア内側

リーダー

リーダー部
施錠ランプ（緑）
解錠ランプ（赤）

ドア外側

ドア内側

サムターン
デッドボルト
防犯サムターン

ドア枠

ストライク

ドア外側

シリンダー
ハンドル
シリンダー

電気錠操作盤

※増設操作盤はオプションです。施錠 / 解錠の操作方法は電気錠操作盤と同じです。

カバー

開扉ランプ（赤）
ドアが開いているときに点灯します
施錠ランプ（緑）
施錠ボタン
解錠ボタン
解錠ランプ（赤）

本体

設定スイッチ
設定ランプ（1〜4）

電子キー

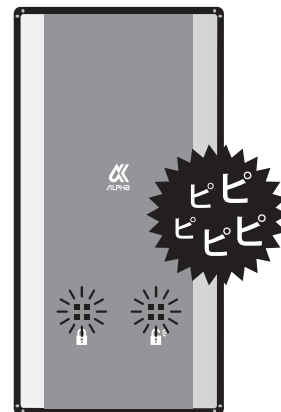
FeliCa®カード

キー

■施錠 / 解錠動作に異常が生じた場合

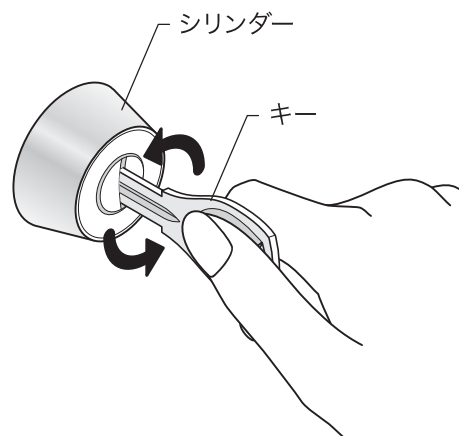
施錠あるいは解錠できなかった場合

作動途中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピ」と鳴り、その後、赤色/緑色ランプが5秒間点滅し、異常を知らせます。

デッドボルトがストライクへ確実に収まっているか確認し、デッドボルトがストライクにぶつかったり、こすれている場合には建付調整を行ってください。
また、異常が発生し、上側または下側の錠の片側のみ施錠されている場合でも「施錠」表示（緑ランプ点灯）となります。再度、施解錠操作を行い、2ロックとも施錠させてください。

その他の異常の場合

その他の異常に関しては、「故障かなと思ったら」19ページに書かれている状態と照らし合わせて確認してください。

■停電や機器故障時の操作

停電等で電気錠を操作できなくなった場合、室外側はキーで、室内側はサムターンで施錠/解錠してください。
（電気錠動作中の停電等による動作停止以外は上記操作で施錠/解錠できます。）

重要

●停電や機器故障に備えて外出時は必ずキーを所持してください。

電気錠動作中に停電等により電源が切れた場合

1 キーまたは、サムターンで施錠操作側へまわせるところまでまわす

2 キーまたは、サムターンで解錠操作側へまわす

解錠できます。

重要

●停電のタイミングにより、1ロックのみの施錠/解錠になることがあります。
●停電等から復旧し、電動で操作すると、ロックが復帰し、通常の操作が可能になります。

対象電気錠システム②

取扱説明書

アルファ・パッシブキー® 電気錠システム

ALPHA PASSIVE-KEY PS800

PS800-W-SH

お客様用 保存版

販売店・工務店の皆様へ

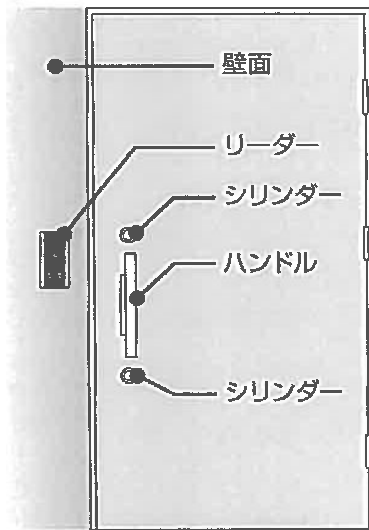
この取扱説明書は施工完了後、お客様へお渡しください。

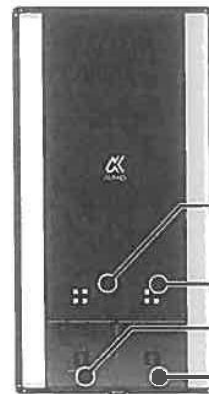
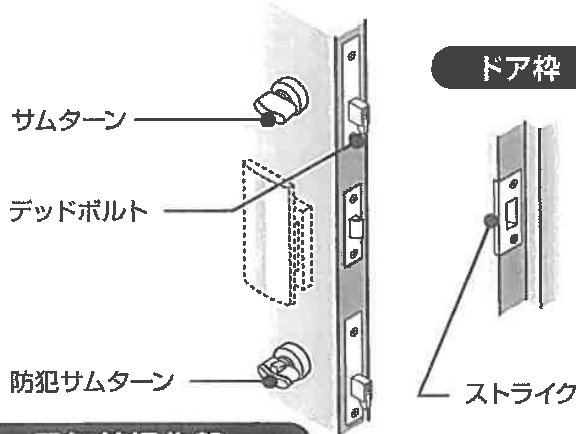
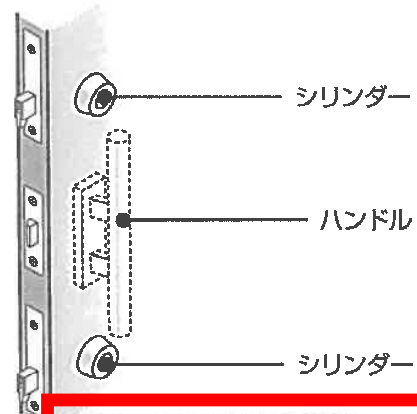
ALPHA

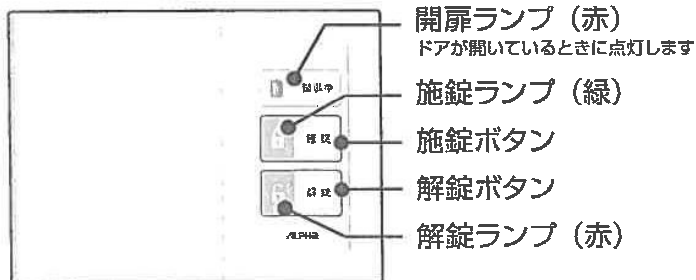
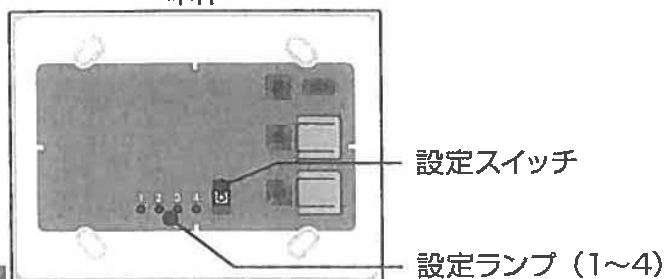
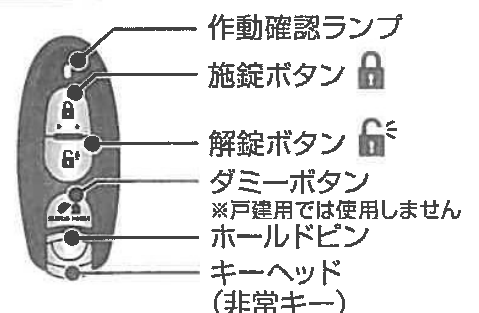
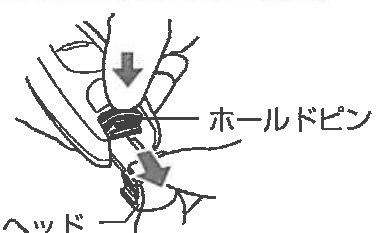
もくじ

AL10K07
0051-HMA-01

はじめに

■各部の名称

リーダー

ドア内側

ドア外側

電気錠操作盤

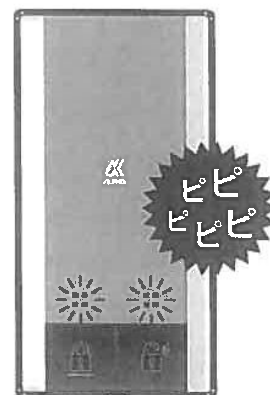
※増設操作盤はオプションです。施錠 / 解錠の操作方法は電気錠操作盤と同じです。

携帯器

非常キーのはずし方

※ホールドピンを押しキーヘッドを引き抜く。

困ったとき

■施錠/解錠動作に異常が生じた場合

施錠あるいは解錠できなかった場合

作動途中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピ」と鳴り、その後、赤色/緑色ランプが5秒間点滅し、異常を知らせます。

デッドボルトがストライクへ確実に収まっているか確認し、デッドボルトがストライクにぶつかったり、こすれている場合には建付調整を行ってください。また、異常が発生し、上側または下側の錠の片側のみ施錠されている場合でも「施錠」表示（緑ランプ点灯）となります。再度、施解錠操作を行い、2ロックとも施錠させてください。

その他の異常の場合

その他の異常に関しては、「故障かなと思ったら」21ページに書かれている状態と照らし合わせて確認してください。

■停電や機器故障時の操作

停電等で電気錠を操作できなくなった場合、室外側はキーで、室内側はサムターンで施錠/解錠してください。
（電気錠動作中の停電等による動作停止以外は上記操作で施錠/解錠できます。）

※ 非常キーは、携帯器に収納されています。詳しくは3ページの「非常キーのはずし方」をご覧ください。

●停電や機器故障に備えて外出時は必ずキーを所持してください。

電気錠動作中に停電等により電源が切れた場合

1 キーまたは、サムターンで施錠操作側へまわせるところまでまわす

2 キーまたは、サムターンで解錠操作側へまわす

解錠できます。

●停電のタイミングにより、1ロックのみの施錠/解錠になることがあります。
●停電等から復旧し、電動で操作すると、ロックが復帰し、通常の操作が可能になります。

SHOWA LTD.

対象電気錠システム③
※取扱説明書はお引渡し時期により異なりますが
対応方法は同じです。

N-EPPX

戸建用
玄関ドアリモコン電気錠システム

取扱説明書（お客様用）

このたびは、ショウワ玄関ドアリモコン電気錠をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご使用前に、この取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■目　次

株式会社ショウワ

システムの特長と構成

システムの特長

●主錠の電気的施解錠に連動して補助錠も同時に作動します。

●キー、サムターンによる手動操作の場合、主錠、補助錠それぞれ個々に施解錠可能です。

●**鍵や室内よりサムターンで解錠した場合は、自動的に施錠はされません。この場合は必ず、人が何らかの方法で施錠を行う必要が有ります。**これは新聞や郵便物を取りに出た時の締め出し防止の為です。また、メインスイッチ、増設スイッチの両方で「ドア開」や「解錠」の状態表示を行っていますので確認ができます。

●停電の時でも通常の鍵としてキー、サムターンで施解錠操作ができます。

■リモコン送信器について

（以後、送信器と称します。）

双方向送信器について

●離れた場所から送信器のスイッチ操作によって解錠、施錠がワンタッチで操作する事が出来ます。又、施錠後の確認が手元の送信器に内蔵されたブザーによる音で確認できるのが、この双方向送信器の特徴です。

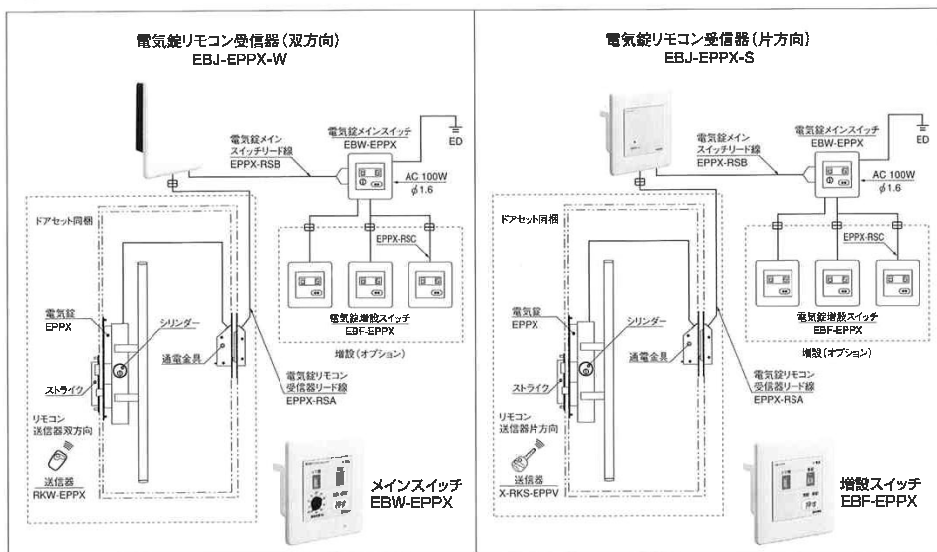
●送信器から発信される電波は製品ごとに専用コードが設定されています。又、送信するごとにコードが一定のアルゴリズムで変化するローリングコード方式を採用しているため、他の送信器や盗聴したコードでは解錠することが出来ませんので、セキュリティに優れています。

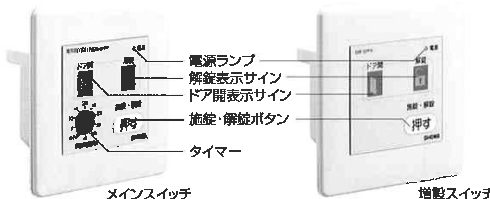
片方向送信器について

●左記の双方向送信器との違いは、手元の送信器で施解錠を確認する事が出来ない事です。そのかわり、ドア枠内に設置してある通電金具内にブザーを内蔵させてあり、このブザー音で施解錠の確認が出来るようになっています。又、従来の鍵と一体式になっていること以外は、左記の双方向送信器と同じ機能になっています。

送信器の使用範囲

●リモコン受信器を設置した壁面材質等の環境により、5m～8mの距離で使用できます。なお、テレビ塔、放送局、発電所、送電所、送電線の近くや範囲の状況、電波環境、ノイズなどにより作動距離が変わることが有ります。但し、携帯電話、PHS等による影響は一切受付ません。

システムの構成

メインスイッチと増設スイッチ

操作とはたらき

	操作		はたらき
A	解錠時間(秒) OFF 5 10 15 20 25 30 35 40 45	自動／手動モード切替	解錠時間が設定されている時は、自動施錠モードで動作します。
B	ドア開	ドア開表示	扉が開いている場合点灯。扉が閉じている場合消灯。ドア開表示灯が点灯している場合、施錠操作はできません。
C	解錠	解錠表示	解錠している場合点灯します。施錠している場合消灯します。
D	施錠・解錠 押す	錠の施錠、解錠押ボタン	押しボタンスイッチを押すと、施錠、解錠動作をします。

ただし、増設スイッチには上記タイマーがありません。

モニタ

解錠すると
ピ・ピ・と2回信号音
モニタに赤色ランプで解錠表示

施錠すると
ピ・と1回信号音
モニタの赤色ランプが消える

扉を開けると
モニタに赤色ランプで
ドア開表示

扉を閉めると
モニタの
赤色ランプ表示が消える

解錠時間

押しボタン又は、リモコンキーで解錠した時
・扉を開かなければ解錠保持時間後に自動的に施錠

押しボタン又は、リモコンキーで解錠し扉を開け再び閉めると
・解錠保持時間に関係なく自動的に施錠

※キー・サムターンで解錠した時は、自動施錠しません。施錠する時は、キー・サムターン又は押しボタン・リモコンキーで施錠してください。

新聞や郵便を取りに出た時の締め出しを防止するためです

自動施錠を解除する時は、タイマーをOFFにしてください。この場合、施錠するにはキー・サムターン又は押しボタン・リモコンキーで解錠してください。

※増設スイッチにタイマーは付いていません。

■警報装置

①施錠時
送信器又は押しボタンで施錠し、電気錠が正しく動作した時、『ピッ』（1回）と鳴ります。

②解錠時
送信器又は押しボタンで解錠し、電気錠が正しく動作した時、『ピ・ピ』（2回）と鳴ります。

③施解錠異常時
送信器又は押しボタンによる施錠または、解錠動作が、NGの場合、『ピ・ピ・ピ・ピ・ピ・・・』（40回）と鳴ります。

④扉開放置時
送信器又は押しボタンで解錠し、扉を開けたままにすると、解錠保持時間後30秒経過しても扉開の場合、扉を閉めるまで、又は解錠時間スイッチがOFFになるまで鳴り続けます。

■警報音仕様

部品名	状態	双方向	片方向
リモコン発信器	施錠OKの場合	ピ・ピ・ピ（３回）	発信機能なし
	解錠OKの場合	ピピピ・ピー（４回）	発信機能なし
扉内の通電金具	施錠OKの場合	発信機能なし	ピッ（１回）
	解錠OKの場合	発信機能なし	ピ・ピ（２回）
メインスイッチ	施錠OKの場合	ピッ（１回）	
	解錠OKの場合	ピ・ピ（２回）	
	扉開時施錠動作の場合	ピ・ピ・ピ・ピ・ピ（５回）	
	施錠NGの場合	ピ・ピ・ピ・ピ・・・・・・・・・・・・・・・・（４０回）	
	解錠NGの場合	ピ・ピ・ピ・ピ・・・・・・・・・・・・・・・・（４０回）	
	解錠保持時間＋３０秒経過後も扉開の場合	ピ・ピ・ピ・ピ・・・・・・（扉閉またはタイマーがOFFになる迄）	
増設スイッチ		発信機能なし	

	登録モード	ピッピッピ（3回）<リモコン受信器より>	ピッピッピ（３回）<通電金具より>
	送信器登録OK時	登録された個数分「ピッ」<リモコン受信器より>	登録された個数分「ピッ」<通電金具より>
	登録終了時	長い「ピー」＋登録された個数分「ピッ」<リモコン受信器より>	長い「ピー」＋登録された個数分「ピッ」<通電金具より>

送信器

送信器の登録

●送信器は付属されているものを含めて最大8個まで登録出来ます。又、送信器の抹消と登録は玄関内側の扉の上に設置されているリモコン受信器で行い、お客様ご自身で抹消、登録を行ってご利用いただけます。又、一度登録されたデータは、停電等で供給電源がストップしても消えることは有りません。
●万一送信器を紛失した場合は、紛失した受信器をお客様ご自身で即時に無効にでき、不正使用を防止できます。

抹消、登録の方法

1 登録したい送信器を全て用意する。

2 リモコン受信器の登録用スイッチをブザーが「ピッピッピ」と3回鳴るまで押します。この間約10秒程度掛かります。
…今まで登録されていた送信器のIDデータが全て抹消されて使えなくなります。
ブザーは、双方向の場合受信器内に、片方向の場合は通電金具にあります。

3 登録する1つ目の送信器のボタンを30秒以内に押します。
(LOCK、UNLOCK又は開、閉のどちらでもよい。)
・・・登録が完了すると、「ピッ」と1回だけ音が鳴ります。

4 2つ目の送信器のボタンを押します。(上記2と同じ様に)
・・・登録が完了すると、「ピッピッ」と2回だけ音が鳴ります。
3つ目の送信器のボタンを押します。(上記2と同じ様に)
・・・登録が完了すると、「ピッピッピッ」と3回だけ音が鳴ります。
n個目の送信器のボタンを押します。(上記2と同じ様に)
・・・登録が完了すると、「ピッピッピッピッ」とn回だけ音が鳴ります。

5 全ての送信器の登録の完了後、約30秒間待ちますと、長い「ピー」音と登録された個数分の「ピッ」音が鳴り登録が完了されます。

<注意>
送信器を紛失された場合や新規に購入される場合、そのまま残りの送信器だけで使用される場合でも必ず1〜5の操作にて再登録してください。この再登録をおこなうことにより、以前に登録されたものは無効となり、紛失した送信器を使えなくするために必ず必要です。

使用方法

■送信器による施錠方法
送信器で施錠する場合は、外部よりドアに向けて(受信器に向け)、「LOCK」(閉)ボタンを押してください。

■送信器による解錠方法
解錠する場合も、ドアに向けて(受信器に向け)、「UNLOCK」(開)ボタンを押してください。

※送信器は、ドアから5〜8m以内の距離で操作してください。

双方向送信器の場合

1 解錠
送信器の「UNLOCK」を押して下さい。
解錠後、送信器内より「ピ・ピ・ピー」という音(3回)で解錠した事を知らせてくれます。

2 施錠
送信器の「LOCK」を押して下さい。
施錠後、送信器より「ピピピ・ピー」という音(4回)で施錠した事を知らせてくれます。

片方向送信器の場合

1 解錠
送信器の「開」を押して下さい。
解錠後、扉枠側より「ピッ」という音(1回)で解錠した事を知らせてくれます。

2 施錠
送信器の「閉」を押して下さい。
施錠後、扉枠内より「ピ・ピ」という音(2回)で施錠した事を知らせてくれます。

電気錠システムQ&A

システム全体について

Q 双方向と片方向で何が違うのか?
A リモコン送信器を使用した施解錠時、施解錠の確認発信音が手元リモコンで確認できるのが双方向です。
片方向の確認発信音は、ドア通電金具の部分から発信され、手元のリモコンではできません。

Q 他の住宅が同様の電気錠の場合、誤動作してしまうことはないか?
A リモコン送信器の信号は、鍵違いIDコードで管理されており、異なるIDコードの場合動作することはありません。またそのコードは、470万通りあります。

Q 増設スイッチは、何ケ所まで接続できるか?
A 3ケ所まで対応可能です。メインスイッチを含めると操作スイッチは、合計4ケ所になります。

リモコン送信器について

Q リモコン送信器の電波は、人体に影響はないのか?
A リモコン送信器の電波は、自動車向けで実績のある微弱電波を使用しており人体に影響はありません。

Q リモコン送信器の電波の到達距離はどの程度か?
A 障害物のない直線距離で、5〜8m程度は届きます。但し、実際は周囲の環境やリモコン電池の寿命等により多少変化することがあります。

Q リモコン送信器の電気情報をコピーされ、不法侵入等に悪用されることはないか、また、車等のリモコンで動作することはないか?
A 不正コピー対策(ハッカー対策)として、リモコン送信器の送信信号には、鍵違いのコードの他、リモコンを操作する度に変化するローリングコードが含まれています。受信器では、その変化するローリングコードの信号が、予測と合致した場合のみ動作する制御方式をとっています。
そのため万一ハッカーがコードを傍受した場合でも、次に送信するローリングコードを予測できないため解錠はできない方式になっています。
さらにリモコン送信器からの送信信号のなかには、積水ハウス用のコードも合わせもっているため車用のリモコンで動作することはありません。

Q リモコン送信器の電池寿命は、どの程度か?
A 開閉しない時、使用頻度等によりますが、10回/日程度の使用で双方向、片方向とも約3年の寿命があります。

日常の操作方法について

Q 自動施錠機能とはなにか?
A 電気的に解錠(室内のスイッチまたはリモコン送信器で解錠)しその後、扉を開閉しないとき、指定時間内に自動的に施錠する機能です。なお、この指定時間内に扉を開閉した場合は、扉が閉じた際即施錠されます。
メインスイッチで、自動施錠機能のON・OFF及び自動施錠するまでの解錠時間の設定ができます。

Q 電気錠とすることで、閉め出しされることはないか?
A 機械的に解錠(サムターンを手で操作して解錠)した場合は、自動施錠が働かないため閉め出しされることはありません。
但し、電気的に解錠した場合で自動施錠機能がONになっていると扉が閉じると即施錠されますので注意が必要です。

Q リモコン送信器を紛失した場合は、どうしたらいいのか?
A 紛失したリモコン送信器の悪用も考えられるため、紛失した送信器を使用不能とする必要があります。電気錠はあらかじめ登録した送信器のみしか動作しないため、一度現在の登録情報を抹消し、紛失した送信器を除いた、いま手持ちの送信器を再度登録し直す必要があります。再登録には、受信器の登録スイッチを操作する必要があります。詳細は、取扱説明書を参照してください。

Q リモコン送信器を増やしたい場合は、どうしたらいいのか?
A リモコン送信器は、最大8コまで対応が可能です。別途(株)ショウワに発注する必要があります。リモコン送信器増設時は、すべてのリモコンを再度登録し直す必要があります。

Q 停電時の鍵の開閉はどのようになるのか?
A 停電時は、電気錠として、リモコン送信器による操作及びメインスイッチ等による操作はできません。メカニカルキーにて、操作する必要があります。
なお、受信器に登録している情報は消えませんので再登録する必要はありません。

注意事項